

令和5年 稲作情報 第6号

令和5年7月21日発行 宮城県亘理農業改良普及センター

電話 0223(34)1141 FAX0223(34)1143 ホームページ <http://www.pref.miyagi.jp/site/wrnk/>

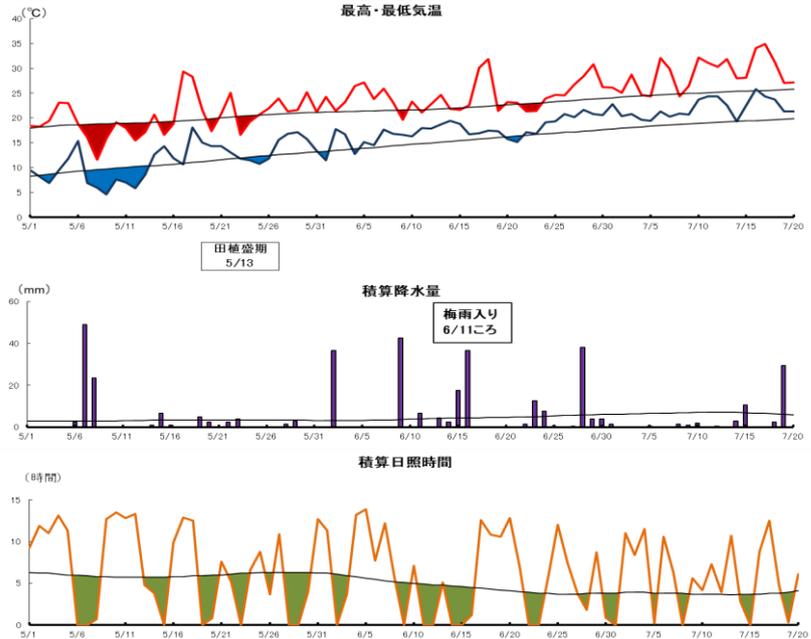
【気象経過】

観測地点：亘理アメダス

(7月)

7月中旬の平均気温は 26.6℃
(平年差 +4.4℃)、日照時間は
57 時間 (平年比 151%) と高温
・多照で経過しました。

積算降水量は 46mm (平年比
69%) でした。



【移植栽培】

1 生育状況

NO	品種	調査地点	田植月日	7月20日調査	
				幼穂長 (mm)	葉耳間長 (cm)
1	ひとめぼれ	名取市	本年値 5月16日	57	-10.3
			平年差	43.3	-
2	ひとめぼれ	亘理町	本年値 5月12日	26.1	-
			平年差	-33.7	-
3	ひとめぼれ	山元町	本年値 5月20日	17.7	-
			平年差	4.7	-
	ひとめぼれ	3ほ場平均	本年値 5月16日	33.6	-
			平年差	4.8	-
4	だて正夢	亘理町	本年値 5月6日	110.5	-3.6
			平年差	42.1	-
5	金のいぶき	岩沼市	本年値 5月12日	14.5	-
			平年差	-7.5	-
6	つきあかり	岩沼市	本年値 5月3日	201.4	6.2
			平年差	-	-

平年値は、NO. 1～4は、同一ほ場で過去5か年の平均値。NO. 5は、同一ほ場で過去2か年の平均値。

7月20日調査の幼穂長は、「ひとめぼれ」が33.6mm、「だて正夢」が110.5mmで、減数分裂始期～終期に達しています。「金のいぶき」は幼穂長14.5mmで間もなく減数分裂期に入る見込みです。「つきあかり」は幼穂長201.4mm、葉耳間長6.2cmで出穂5日前に達しています。

幼穂の長さとお穂までの日数の目安

发育過程		出穂前日数	幼穂長	葉耳間長
幼穂形 成期	始期	25日前	1～2mm	/
	終期	23日前	3mm	
減数 分裂期	始期	15日前	3～4cm	-1.0cm
	終期	10日前	8～1.0cm	±0cm

2 今後の管理

(1) 出穂期予想

本年度の水稻の生育は進んでおり、**県内の中生品種の出穂期は7月28日頃の予想です。**
(宮城県米づくり推進本部 情報第1号より)

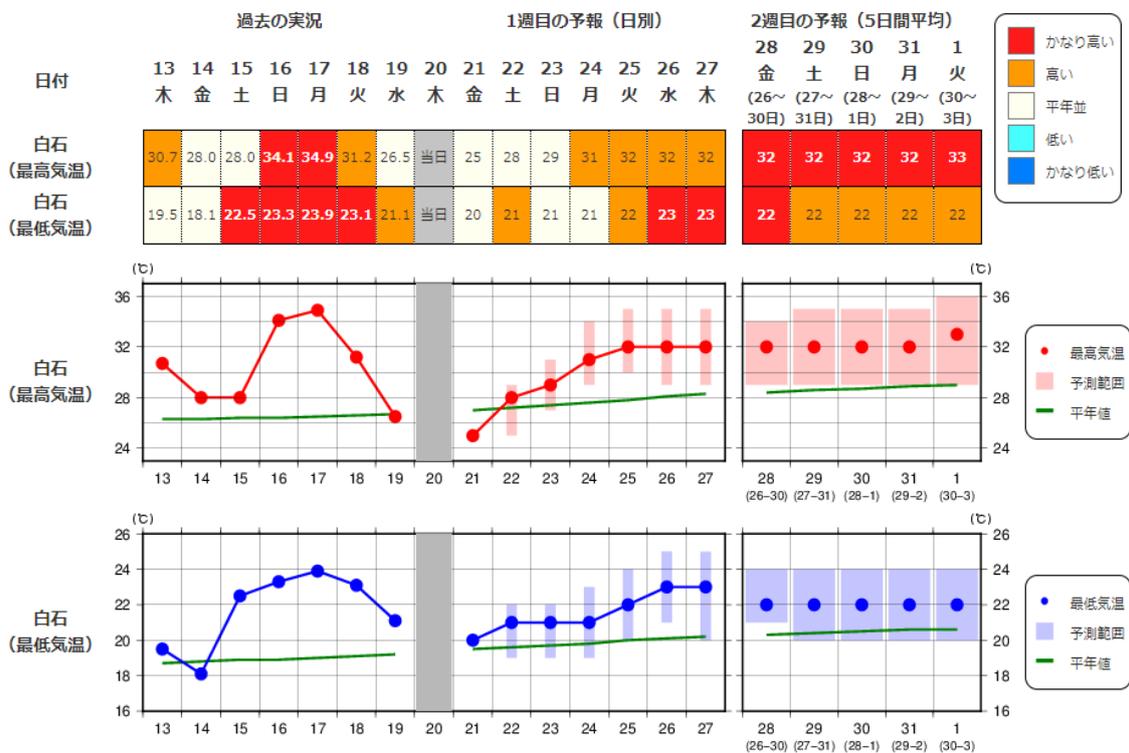
(2) 水管理

2週間気象予報(気象庁)では、障害不稔となる「日平均気温20℃以下が長期間続く場合や最低気温が17℃以下となる場合」は発生しない予報になっています。

出穂までは間断かん水、出穂期～穂揃期は浅水管理を行いましょう。

<7月20日 気象庁>

2週間気温予報



2週間気温予報は仙台管区気象台のホームページを御覧ください。
<https://www.data.jma.go.jp/cpd/twoweek/>

(3) 追肥

本年のアメダス(巨理)の3、4月積算降水量は82mmであり、目安となる100mmを下回っているので乾土効果の影響があり、**土壌窒素発現量はやや多いと見込まれます。**
草丈や葉色を確認し、適切に追肥しまししょう。

表1. 品種・生育ステージごとの生育量及び追肥窒素量の目安

品種	幼穂形成期(幼穂長1~2mm, 出穂20~25日前)				減数分裂期(幼穂長30mm, 出穂15日前)			
	草丈(cm)	茎数(本/m ²)	葉緑素計値(群落葉色板値)	追肥窒素量(kg/10a)	草丈(cm)	茎数(本/m ²)	葉緑素計値(群落葉色板値)	追肥窒素量(kg/10a)
ひとめぼれ	56~59	470~530	38~40(4.4~4.8)	1.0	66~69	450~500	35~37(4.0~4.3)	1.0
ササニシキ	62~68	720~760	34~36(3.8~4.2)	0※ ¹		550~580	32~34(3.5~3.8)	1.0~1.5
つや姫	70~75	550~580	35~37(4.0~4.3)	2.0				
だて正夢	64~70	390~460	40~42(4.8~5.1)	0※ ²	76~82	380~420	37~39(4.3~4.6)	2.0
金のいぶき	65~70	570~620	33~35(3.6~4.0)	1.0	83~88	490~540	30~32(3.2~3.5)	1.0
つきあかり	47~55	370~420	40以上	1.0	75~83	330~350	40以上	2.0

(4) 稲こうじ病

穂ばらみ期が低温で、降雨日数の多いと発生が多くなります。銅剤による防除は出穂 20～10 日前に実施しましょう。

(5) いもち病対策

葉いもちが発生しやすい気象条件（低温・少照・多雨等）が出現しているかどうかは、県病害虫防除所のホームページの葉いもち感染好適条件の出現状況(BLASTAM) (<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/byogai/blastam.html>) で確認できます。

いもち病に感染していれば、葉いもち感染好適条件の出現状況(BLASTAM)の好適条件発生の10～14日後には場で病斑が確認され始めますので、は場の観察を行いましょう。発病が見られたときには速やかに茎葉散布剤で防除して下さい。

特に、「金のいぶき」は、いもち病に弱いので水面施用剤によるいもち病防除を実施しましょう。

アメダス資料による葉いもちの感染好適条件の出現状況(BLASTAM 令和5年度)

日付	駒ノ湯	気仙沼	川渡	築館	米山	志津川	古川	大衡	鹿島台	石巻	女川	新川	塩釜	仙台	白石	蔵王	亘理	丸森
6/26	△	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/27	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/28	○	●	●	—	●	●	●	—	—	—	—	●	—	—	●	—	—	—
6/29	—	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/30	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	●	—	●	—	—	—	—	—
7/1	●	●	●	●	—	●	●	—	●	—	●	●	—	—	—	●	—	—
7/2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	●
7/3	△	△	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/6	○	●	●	●	—	●	—	●	—	—	—	●	—	—	●	●	●	●
7/7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/9	△	●	●	●	●	●	●	●	●	—	●	—	—	—	—	●	—	—
7/10	—	—	—	—	—	—	—	●	—	●	●	—	—	—	—	—	—	—
7/11	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	●	—	?	—	—	●	—	—
7/12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/15	—	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	—	○	—	○	○	○	○
7/16	●	●	●	○	○	○	—	●	●	—	—	—	○	—	—	●	—	○
7/17	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	●	—	—	—	—	—	—

●	好適条件	葉いもちの大量感染に好適な気象条件(葉面湿潤時間10時間以上、平均気温15～25℃、前5日間の平均気温20～25℃)が出現した日
○	準好適条件1	当日の条件は満たしているが、前5日間の平均気温が条件から外れている場合
△	準好適条件2	葉面湿潤時間の長さのみ好適条件を満たしている場合
—	好適条件なし	
?	判定不能	

(6) 斑点米カメムシ類の防除

斑点米による落等を防止するため、畦畔等の雑草は水稻出穂の 10 日前までに刈り終わってください。斑点米カメムシ類の薬剤防除は、穂揃期とその7～10 日後の2回防除を基本とします。

【亘理・名取管内のアカスジカスミカメ発生時期の推定(アメダス(亘理))】

	越冬世代		第1世代		第2世代	
	ふ化	成虫	ふ化	成虫	ふ化	成虫
発生時期	5月19日	6月14日	7月4日	7月17日	8月2日	8月16日

※7月20日までのアメダス(亘理)実測値と7月21日以降はアメダス(亘理)過去5か年(平成30～令和4年)の平均値を使用。

※予測月日は重久(2004)の報告に基づき算出(卵:発生零度12.1℃,有効積算温度105.7日度,

幼虫:発生零度11.9℃,有効積算温度182.1日度,産卵前期間:発生零度15.1℃,有効積算温度59.5日度)。

【乾田直播栽培】

1 生育状況

NO	品種	調査地点		播種月日	栽植密度 (条/m)	7月20日調査					
						草丈 (cm)	莖数 (本/m ²)	葉数 (枚)	葉色 (GM)	幼穂長 (mm)	葉耳間長 (cm)
1	ひとめぼれ	岩沼市	本年値	3月15日	4.2	72	411	12.3	32.6	29.5	-14.6
			平年比		条間24cm	116%	80%	1.7	-1.4	21.2	-
2	ササニシキ	岩沼市	本年値	4月3日	3.4	81	389	12.1	36.1	80.5	-6.1
			平年比		条間30cm	92%	64%	0.9	-4.5	68.9	-

平年値は、NO. 1は、同一ほ場で過去5か年の平均値。NO. 2は、令和3年度の値。

7月20日調査の幼穂長は、「ひとめぼれ」が29.5mm、「ササニシキ」が80.5mmで減数分裂始期～終期に達しています。本年度は、乾田直播と移植栽培の出穂期の差は小さいと考えられます。

2 今後の管理

(1) 水管理

出穂期～穂揃期は浅水管理を行いましょう。

(2) いもち病対策

水面施用剤を防除適期に散布してください。

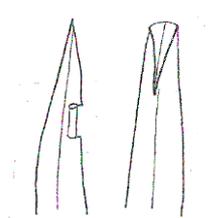
葉いもちが発生しやすい気象条件（低温・少照・多雨等）が出現しているかどうかは、県病害虫防除所のホームページの葉いもち感染好適条件の出現状況(BLASTAM) (<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/byogai/blastam.html>) で確認できます。

(3) 斑点米カメムシ類防除

斑点米による落等を防止するため、畦畔等の雑草は水稻出穂の10日前までに刈り終わってください。斑点米カメムシ類の薬剤防除は移植栽培同様、穂揃期とその7～10日後の2回防除を基本とします。

(4) イネツトムシ（イチモンジセセリ）

イネツトムシの被害は大きく、防除の対象になるのは8月上旬頃に発生する第2世代幼虫です。防除適期は若齢幼虫期の短い期間に限られます。若齢幼虫の形成するツトを見逃さないように注意してください。



図：若齢幼虫の形成するツト

令和5年度農林産物品評会(うるち玄米)の開催予定のお知らせ

令和5年11月13日(月)～14日(火) 県庁一階ロビー展示。

生産者皆様からの出品申込をお待ちしています。詳細が分かり次第お知らせします。